



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)
市民病院について

Q 民間譲渡後の運営費の補助について、民間にした場合の佐野市の財政支出が年間5,000万円と試算している以外に、今までの医療体制を維持するには、補助金が出てくる可能性は十分あると思う。この試算している以外の補助金について、どのように考えているのか。

A 健康医療部長

救急医療等の確保については、市民生活に密着した重要な課題であると考え、今後十分に協議しなければいけないものと考えています。市民病院は、民営化後も引き続き地域の中核病院としての役割を果たしていく必要があることから、救急医療や診療所等への僻地医療等の政策的な医療については、市としても支援をしていく必要があると考えています。

その他の質問
☆介護保険について



▲ 佐野市民病院



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)
こどもの貧困対策について

Q 入学準備金の支給金額が平成29年度から小中学校とも約2倍になったが、支給時期は入学してからである。全国自治体の中では、入学前の3月までに支給をしているところが増えてきており、本市でも前倒しで実施すべきだと思いが、いかがか。

A 教育総務部長

準要保護世帯に対する入学準備金、つまり新入学児童生徒学用品費については、現在4月に支給しています。しかし、平成28年度末に国の要保護児童生徒援助金補助金等交付要綱が改正され、準用保護世帯に対しても必要な援助が適切な時期に実施されるようにとの通知が文部科学省からあり、本市でも入学前の3月を目途に支給することについて条件整備を図り、実施する方向で考えていきます。

その他の質問
☆国民健康保険の広域化に向けた取組状況について
☆重度心身障がい者医療の窓口無料化について



川嶋 嘉一 議員(政友みらい)
ドローンの効用について

Q 観光立市をアピールする目的で、ドローンを利用してのPR動画を作成することを提案するが、いかがか。

A 行政経営部長

現在、全国各地で地域をアピールするPR動画の作成が盛んに行われていますが、その中にはドローンを活用した事例も多く見られます。ドローンの出現によりリモコン操作での柔軟な空中撮影が可能となり、空中からのさまざまな美しい動画を安価に撮影することができるようになったことは、周知の事実だと思います。本市の誇れる自然環境等をドローンによる映像でPRすることは、大いに効果的な手段であると考えますので、PR動画の作成について、前向きに検討していきたいと考えています。

その他の質問
☆英語教育について
☆学校跡地等の活用について

